2022年度10月　山口大学異分野融合研究実践型博士後期課程学生育成プロジェクト　申請書

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 審査区分 | 研究科区分 | 医 ・ 創成 ・ 獣医・東ア | 学年 |  | 受付番号 |  |

(\*)上記は記載不要（事務局記載）

**１.基本情報（2022年10月1日現在）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （ふりがな）  氏　　　名 | （　　　　　　　　　　　　　　） | | 学籍番号(\*) |  | | |
| メールアドレス  (\*) | @yamaguchi-u.ac.jp | | 電話番号 |  | | |
| 所　　　属 | 研究科　　　　　　　　専攻　　　学年　（2022年度10月入学） | | | | | |
| 学　　　歴  （学部・修士） | 1. (西暦) 　　　年　月　　　　　大学　　　　　　　　学部　　　　　学科卒業 2. (西暦)　 　　年　月　　　　　大学大学院　　　　研究科　　　　　専攻入学 3. (西暦)　　 　年　月　　　　　大学大学院　　　　研究科　　　　　専攻修了 | | | | | |
| 研究・職歴等 | 1. (西暦)　　年　月　～　　　　年　月  2. (西暦)　　年　月　～　　　　年　月 | | | | | |
| 博士後期課程の研究課題名 |  | | | | | |
| 研究指導予定  教員 | 氏名 |  | | | | |
| 所属部局 |  | | | 職　名 |  |

**(\*)欄は、山口大学の学籍番号及びメールアドレスを所持している場合に記載**

**２．【研究計画】**※適宜概念図を用いるなどして、研究の位置づけ、研究目的、研究内容を特にわかりやすく記入してください（目安としては、オープンキャンパスに訪れた高校3年生に自分の研究を説明するレベルと考えてください。）。各事項の字数制限はありませんが、全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。フォントサイズは11ポイント以上

**(1) 研究の位置づけ**

博士（後期）課程にて取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。（特に研究テーマ設定に際して、応募者の自主性、独立性が分かるように記載してください。）

**(2) 研究目的・内容等**

1. 博士（後期）課程にて取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。
2. どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

➂ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してくだ

さい。

**３．異分野融合研究に関する応募者のアイデア・考え方**※本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

フォントサイズは11ポイント以上

現研究テーマとは別に、異分野研究者（応募者の専門分野以外の研究者を自由に設定可、分野が大きく異なることが望ましい）と異分野融合研究を応募者が仮に行うとすれば、どのような研究テーマを設定、実施したいか、実施できそうかを考えて記載してください（複数テーマ提案も可）。その研究テーマの中で応募者は、どのような役割を果たすのか（果たせそうか）、異分野の研究者との共同研究に、どのようなことを応募者は期待しているかなどを含め、異分野融合型研究に対する応募者の興味、熱意や考えなどを詳しく記入してください。

**４．【自己分析と目指す将来像】**※各事項の字数制限はありませんが、全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

フォントサイズは11ポイント以上

　（1）研究活動における自身の強みと考えている点、（2）今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素及び(3)応募者の目指す将来像のそれぞれについて、具体的に記入してください。

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・下記（１）及び（２）の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。*

**(1)** **研究活動における自身の強み**

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文等）も適宜示しながら強みを記入してください。*

*成果物（論文等）を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。*

*（例）学術論文（査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。）*

*著者、題名、掲載誌名、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記載してください。*

*（例) 研究発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。）*

*著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）*

**(2)** **今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素**

**(3)目指す研究者像** ※博士号取得後 、働く自分の姿などにも触れて記入してください。

**５．研究費使用計画（※年額を300千円としていますが、必要な場合は、年額500千円まで計上可。**

**ただし金額は精査後、決定します。また、応募者の最終学年の年度までの記載としてください。**

**※4年生課程の方は、表を追記して作成してください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 予算費目 | 事項 | 金額（単位：千円） |
| １年度目  （2022年度）  ※半年分 | 1. 物品費 |  |  |
|  |  |
| 1. 旅　費 |  |  |
|  |  |
| 1. 謝金等 |  |  |
|  |  |
| 1. その他 |  |  |
|  |  |
| 合　計 |  | 150 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 予算費目 | 事項 | 金額（単位：千円） |
| ２年度目  （2023年度） | 1. 物品費 |  |  |
|  |  |
| 1. 旅　費 |  |  |
|  |  |
| 1. 謝金等 |  |  |
|  |  |
| 1. その他 |  |  |
|  |  |
| 合　計 |  | 300 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 予算費目 | 事項 | 金額（単位：千円） |
| ３年度目  （2024年度） | 1. 物品費 |  |  |
|  |  |
| 1. 旅　費 |  |  |
|  |  |
| 1. 謝金等 |  |  |
|  |  |
| 1. その他 |  |  |
|  |  |
| 合　計 |  | 300 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 予算費目 | 事項 | 金額（単位：千円） |
| ４年度目  （2025年度）  ※半年分 | 1. 物品費 |  |  |
|  |  |
| 1. 旅　費 |  |  |
|  |  |
| 1. 謝金等 |  |  |
|  |  |
| 1. その他 |  |  |
|  |  |
| 合　計 |  | 150 |

　　　（予算費目について）

* + 1. 物品費：学生が研究に必要な設備・備品・消耗品等を新たに購入するための経費
    2. 旅 費：学生本人の海外・国内出張（資料収集、各種調査、打合せ、研究開発成果発表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）
    3. 謝金等：研究開発への協力（資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配布・回収、研究資料の収集等）をする者に係る謝金等の支払いのための経費
    4. その他：上記のほか学生が自身の研究課題を実施するための経費（具体例として、印刷費、複写費、現像・焼き付け費、通信費（切手、電話等）、運搬費、専用施設の借料、会議費（会場借料、食事（アルコール類を除く）費用等）、レンタル費用（コンピュータ、自動車、実験機器・器具等）、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用）等）